

平成19年1月1日
(2007)
第68号
毎月発行
編集
公民館だより編集室
発行
西東京市保谷公民館

西東京市 公民館だより

田無公民館
南町5-6-11
TEL 461-1170

芝久保公民館
芝久保町5-4-48
TEL 461-9825

谷戸公民館
谷戸町1-17-2
TEL 421-3855

保谷公民館
柳沢1-15-1
TEL 464-8211

住吉公民館
住吉町6-1-25
TEL 421-1125

ひばりが丘公民館
ひばりが丘2-3-4
TEL 424-3011

世界に羽ばたく ちいさな展示会

芝久保公民館のロビーを入ったところにある展示コーナー「ちいさな展示会」をご存知ですか？
この展示会に過去2回出品したことがある小林すみ子さん（西原町在住）が昨年10月、カナダのモントリオール国際芸術祭で、日本・カナダ・フランス友好賞を受賞しました。
今回は、小林さんに作品を作り上げる苦労と作品の魅力についてお話を伺いました。

小林さんの作品は、編み物で風景画などを描くというユニークな手法のものです。
受賞作品は、「秋・もみじ」横100cm、縦80cm（写真）。
「この作品は、一昨年の秋に日光・戦場ヶ原で取材した、秋の風景を題材にしています。それ



受賞作「秋・もみじ」

をどうデザインするか、どのように編み物で表現するのか、構想を練るのに時間がかかりました。制作の難しさと醍醐味は、編む作業よりも、イメージを具体化する過程にあるのです。構想が決まり編み出すと、徹夜になることもあり、完成まで

「もともと編み物が好きで、続けていました。ずっと以前から美しいものの観賞が好きで、その美しさを編み物の糸で表現できないものかと考えるようになりました。編み物というと普通着るものというイメージですが、着るものだと首や腕を整えなければならず、見て感じたものを自由に表現するには制約があります。特に、風景や季節の移り変わりの美しさを写生するように、編み物で表現できたらと考えるようになりました。以来試行錯誤を重ねて現在に至りました」

精巧な技術をかなり要求されるのが素人にもわかりました。今後の小林さんの夢を語っていただきました。「このような作品は、他にあまり存在しないでしょう。イギリ



スなどは、美術大学の中に編み物部門があると聞いていますが日本ではそのような場がないのです。これからはいろいろな人に表現の手法の一つとして編み物を理解してもらいたいと思っています。芸術としての編み物文化です。今、手先の文化が消えていくことが心配で、次世代の人たちにもっと作品を見ていただいで、興味をもってもらえたらと、願いながら作品を制作しています」

世界に認められた編み物の画こんなに素晴らしい作品も出展されてきた「ちいさな展示会」は、地域で活動する方々の様々な作品や収集品を展示し、長年にわたり、地域の皆様に親しまれてきました。昨年の展示では小林さんの作品の他にも市内在住のコレクター平山さんのコレクションによる吉田拓郎展が大きな反響を呼び、遠方からもたくさんの方が来館してくれました。

まず手始めに紹介されたのは「ミステリアスマネー」というマジック。
次に紹介されたのは「奇跡のリング」（輪抜けの紐）というマジックです。私たちも紐を扱う手が四苦八苦、徐々に難しくなっています。親指の使い方がキーポイント。
トランプマジックでは指先の使い方、その仕掛けに解説がつきます。
ウォンド（棒のこと）を使っ



マジックショー

サークル訪問 ～柳沢マジッククラブ～

今回は保谷公民館を拠点として活躍する「柳沢マジッククラブ」をのぞいてみました。発足したのは平成18年9月というからまだ生まれたてのホヤホヤです。このサークルは、先日、ロビーコンサートにも出演し、大変好評でした。

また、会員の一人は「マジックを見て覚えることだけが楽しみではなく、覚えたことをボランティアとして社会に還元すること、たとえば老人ホーム、幼稚園、結婚式等で披露することが大変楽しい」と言います。